

創薬に資する気体分子等価体および実用的有機合成手法の開発

薬科学科（生命物理化学分野） 橋本 博

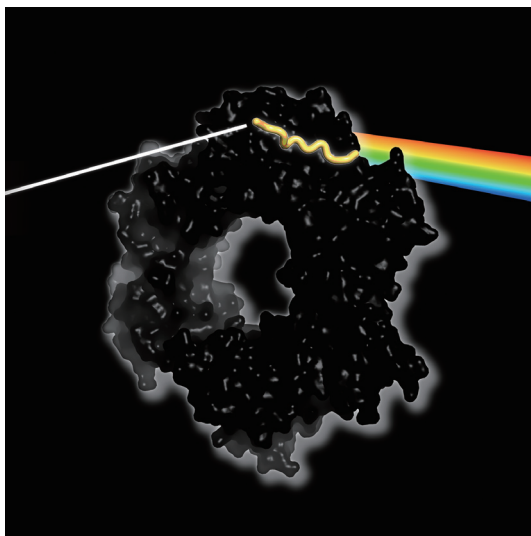
- 連絡先 TEL：054-264-5644 FAX：054-264-5644
E-Mail：hash@u-shizuoka-ken.ac.jp
- ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/bukka/>

キーワード

タンパク質、立体構造解析、相互作用解析、構造生物学、生物物理学、結晶化



私タンパク質は適切な「かたち」をとることで正しく働くことができます。かたち（立体構造）とはたらき（機能）には密接な関係があり、タンパク質の機能を理解するには、立体構造を知る必要があります。立体構造から機能を理解できれば、機能を制御する分子の創製、すなわちドラッグデザインが可能になります。X線結晶構造解析はタンパク質の立体構造を原子レベルの解像度で正確に決定できる強力な構造決定法です。最近では、分子量の大きなタンパク質の場合にはクライオ電子顕微鏡を用いた立体構造解析も広く用いられるようになってきました。生命物理化学分野では、生物学的に重要な機能を持つタンパク質を対象に、組換えタンパク質の調製、立体構造解析、相互作用解析を行っています。それによって、病気の発症メカニズムや医薬品開発の手がかりを得たいと思っています。



DNA損傷チェックポイントに関わるタンパク質の立体構造

アピールポイント

組換えタンパク質の生産や立体構造解析・相互作用解析のご相談をお待ちしております。